

# 週間市場レポート (2020年7月6日~7月10日)

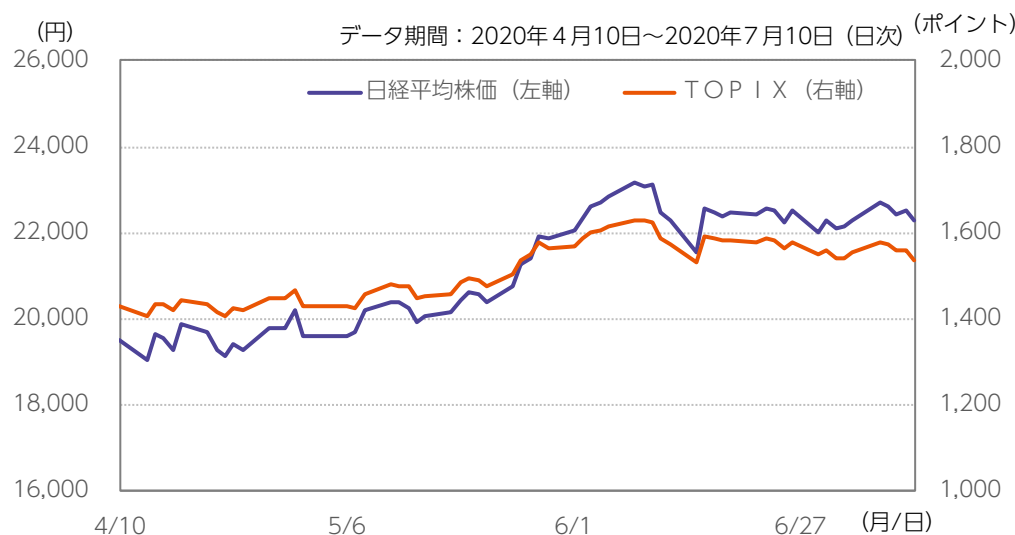
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末*2 2020/7/3	先週末 2020/7/10	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)	日本	22,306.48	22,290.81	▲ 0.07 ↓
TOPIX (東証株価指数)	日本	1,552.33	1,535.20	▲ 1.10 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)	米国	25,827.36	26,075.30	0.96 ↑
S&P500種指数	米国	3,130.01	3,185.04	1.76 ↑
ユーロ・ストックス50指数	EU	3,294.38	3,296.22	0.06 ↑
S&P/ASX300指数	オーストラリア	6,018.01	5,886.07	▲ 2.19 ↓
上海総合指数	中国	3,152.81	3,383.32	7.31 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)※		835.23	865.60	3.64 ↑
東証REIT指数	日本	1,691.94	1,664.93	▲ 1.60 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	米国	676.11	660.07	▲ 2.37 ↓
ASX300 REIT 指数	オーストラリア	1,258.60	1,196.40	▲ 4.94 ↓
グローバルREIT (除く日本)※		159.26	154.51	▲ 2.98 ↓
日本10年国債 (%)	日本	0.03	0.03	▲ 0.00 ↓
米国10年国債 (%)	米国	0.67	0.64	▲ 0.02 ↓
ドイツ10年国債 (%)	ドイツ	▲ 0.43	▲ 0.47	▲ 0.03 ↓
英国10年国債 (%)	英国	0.19	0.16	▲ 0.03 ↓
ドル/円	米国	107.51	106.93	▲ 0.54 ↓
ユーロ/円	EU	120.95	120.86	▲ 0.07 ↓
英ポンド/円	英国	134.20	134.97	0.57 ↑
豪ドル/円	オーストラリア	74.62	74.30	▲ 0.42 ↓
フィラデルフィア半導体指数		1,993.61	2,069.79	3.82 ↑
WTI原油先物 (ドル)		40.65	40.55	▲ 0.25 ↓
CRB指数		140.60	141.52	0.66 ↑
アレリアンMLP指数		719.21	686.50	▲ 4.55 ↓

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で概ね横ばいでした。週初、中国経済の回復期待などから中国株式市場が上昇したことを受け、投資家のリスク選好姿勢が強まったことから上昇しました。しかし、その後はアメリカをはじめとして日本でも新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染第二波が懸念される状況の下、景気の先行きに対する不安感が浮上してきたため、上値が重くなり、前週末とほぼ変わらない水準での引けとなりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース \*1 ▲はマイナスを表します \*2 米国関連指数は、独立記念日のため2020年7月2日のデータ



## ≪ 債券 ≫

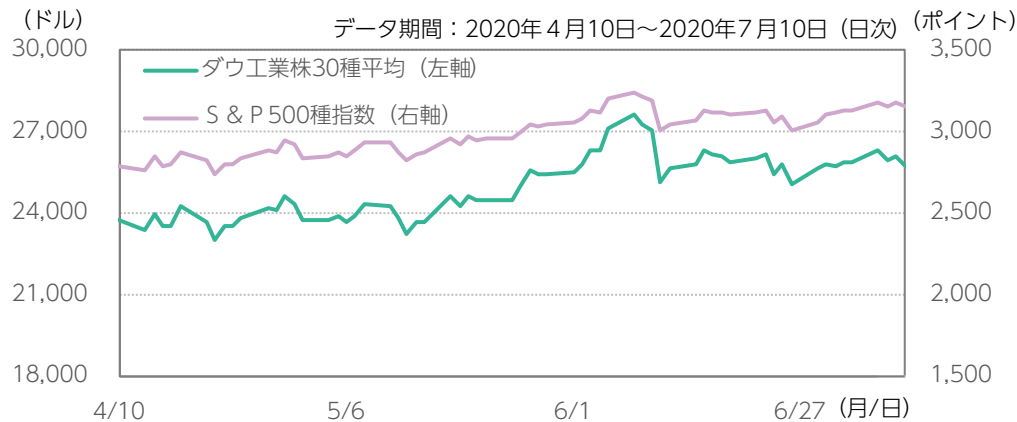
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で概ね横ばいでした。週初、株価上昇を受け投資家のリスク選好姿勢が強まったため、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となり価格は下落（利回りは上昇）しました。その後、株価が下落基調になったことや順調な国債入札を受けて需給悪化懸念が後退したこともあり、価格は上昇（利回りは低下）しました。



## 3) 米国の株式市場

### ≪ 株式 ≫

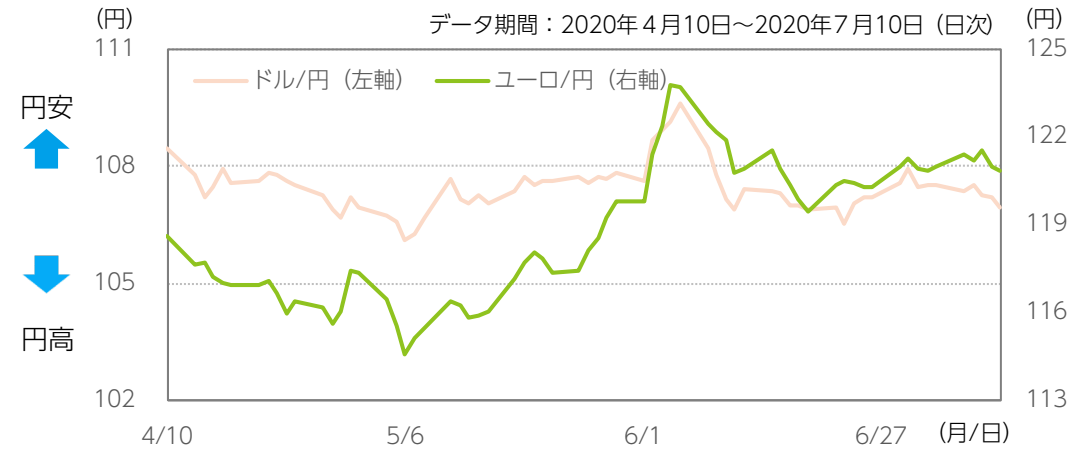
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇しました。週初、中国株式市場の上昇や好調な米国経済指標を背景に上昇しましたが、その後は新型コロナウイルス感染再拡大への懸念から下落しました。週末には、新型コロナウイルス治療薬への期待感から買いが優勢となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

## 4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。新型コロナウイルス感染第二波に対する懸念の高まりや米中関係悪化への警戒感からリスク回避的な動きとなり、相対的に安全な通貨とされる円は買いが優勢となりました。



## 5) 今週の見通しについて

先週は、中国株式市場が大きく上昇したことに加え、新型コロナウイルス治療薬への期待感などもあり、米国株式市場は前週末比で上昇しました。再度増加傾向にある新型コロナウイルス感染者数の動向には注意が必要と考えますが、米国の追加経済対策への期待や主要国の大規模金融緩和などの効果により今週の株価は底堅く推移することを想定します。今週より本格化する2020年4～6月期の米国企業決算や今週公表されるニューヨーク連銀製造業景気指数等の経済指標が市場の予想を上回る結果となった場合は、それを手掛かりに一段の株価上昇が期待できるものと考えます。



## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>